W REGUSTA

安全安心都市

政策11 防災・防犯のまちづくり

- 災害時における体制の強化 (P120)

- 防災基盤の整備

- 災害に強い街づくりの推進 (P124)

犯罪をゆるさないまちづくりの推進 (P126)

- 交通安全対策の推進

政策12 利便性の高い都市基盤の整備

- 快適な市街地環境への誘導

都市計画道路の整備 (P131)

交通環境の整備(P132)

市街地再開発事業等の推進 (P134)

囲みは、重点施策

「災害時における体制の強化」





目的・方向性

過去の自然災害における教訓を踏まえ、「自助」、「共助」、「公助」の取組を総合的に推進することにより、災害時における体制の強化を図ります。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実	基本計画 最終年度		
	2年度	3年度	4 年度	5年度	8年度
食糧や飲料水を7 日分以上備蓄して いる人の割合	10%	12%	14%	16%	22%
食糧や飲料水を3 日分以上備蓄して いる人の割合	54%	56%	58%	60%	66%
防災区民組織主 催訓練実施率	25%	^{*1} 50%	** 1 80%	[*] 1 100%	100%

^{※1} 令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策の実施による指標数の減。令和4年度以降は徐々に回復を見込む。

重点事業 (計画事業)

事	業	É	名	防災意識の普及啓発						
実	施	方	針	 個人による水・食糧の備蓄の推進や、屋内安全対策器具(感震ブレーカー、家具転倒防止器具等)の設置促進を図っていきます。 あらBOSAIをはじめとする各種イベント等の実施により、幅広い年齢層の方が防災訓練に参加するためのきっかけづくりを進めていきます。 						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度			
	上備書		を7日でいる	10%	12%	14%	16%			
	上備書		と3日でいる	54%	56%	58%	60%			
家具実施		方止す	対策の	70%	72%	74%	76%			
感震 及率	ブレー	ーカー	ーの普	23%	25%	27%	29%			

事	業	É	名	区民の防災行動	区民の防災行動力の向上					
実	施	方	針	 「避難所等における新型コロナウイルス等感染症対応方針」に基づ感染症対策を踏まえた避難所開設・運営訓練を実施し、随時、避難運営マニュアルの改善等を進めていきます。 防災区民組織による自主的な避難所運営が可能となるよう、計画的避難所運営レベルのステップアップを図ります。 町会、中学校防災部、消防団等が連携した永久水利施設を活用した練等を実施していきます。 中学校防災部への活動支援等、防災ジュニアリーダーの育成を推進ていきます。 						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度		5年度		
防災練実		且織自	巨催訓	25%	※ 1 50°	% *1 8	80%	× 1 100%		
の実	避難所開設・運営訓練 の実施及びマニュア ルの改善		推進・改善	推進・改	善推進・ī	改善	推進・改善			
中学校防災部の部員 数(卒業生含む累計) 【再掲(P64)】				835 人	915	人 99	5 人	1,075人		
	ニア 🛭 【 再 掲)】)】	82.0%	84. 0	% 86.	0%	88.0%		

^{※1} 令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策の実施による指標数の減。令和4年度以降は徐々に回復を見込む。

事	美	É	名	区における災害	対策の強化		
実	施	方	針	をもとに災害系・災害情報の収集を構築し、区民します。 ・災害発生時にお害時の受援体制・地域防災計画等	ニュアルを改善して 迅速かつ効率的に実 と的確に取得できる 民間企業等との協定 ます。	に施可能なシステム 環境を充実・強化 の締結を進め、災 ための地域防災計	
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度
発生		員行重	が災害 めマニ	実施・改善	実施・改善	実施・改善	実施・改善
災害時情報収集・管理・伝達システムの 構築		構築・運用	構築・運用	運用	運用		
他自治体、民間企業等との協定の締結		自治体 18 団体 企業等 78 団体	推進	推進	推進		
地域進計		計画 第	実施推	更新	推進	推進	更新

事	美	É	名	大規模水害対策の	大規模水害対策の推進				
実	施	方	金十	 大規模水害の発生に備え、水害対策運用班の設置等による災害対策部体制の強化、避難場所運営担当職員の指定による避難場所運営体の強化等、全庁的な対応体制を構築し、適宜、改善していきます。 「避難所等における新型コロナウイルス等感染症対応方針」及び「規模水害時避難場所対応マニュアル」に基づき、新型コロナウイル感染症等の蔓延下における避難場所の運営シミュレーションの実施マニュアルの改善等を行い、複合災害に備えた体制の強化を図ってきます。 大規模水害時に区内の大部分が浸水する想定であることを踏まえ、き続き、国や東京都、他自治体等の防災関係機関と連携し、大規模害発生時における広域避難体制の検討・整備を進めていきます。 大規模水害時の避難方法等について、様々な機会を捉えて区民や事者等への啓発を行っていきます。 					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度		
大規模水害対応体制 の強化			5体制	検討・構築	改善	改善	改善		
大規模水害時の避難 方法等の普及啓発				検討・実施	実施	実施	実施		

「災害に強い街づくりの推進」





目的・方向性

耐震性や耐火性のある建物への更新が進み、容易に消火や避難が可能な道路やオープンスペースが整備された防火性の高い都市構造を目指し、区民の誰もが安心して暮らせる災害に強い街づくりを推進します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実	基本計画 最終年度		
	2年度	3 年度	4 年度	5 年度	8 年度
不燃領域率(不燃 化特区)(※1)	64.7%	64.9%	66. 2%	67.5%	70%超
住宅の耐震化率	86%	計画期間	内に 95%を目標	→ 95%	95%超

^{※1} 令和3年度以降の実施計画は、荒川・南千住地区、町屋・尾久地区の数値。

重点事業 (計画事業)

事	当	Ě	名	不燃	不燃化特区整備促進事業				
実	施	方	針	 ・ 不燃領域率の向上を目指し、老朽木造建築物の建替えや除却、主要な活道路の拡幅整備、公園や広場等のオープンスペースの確保を推進る取組を実施します。 ・ 事業期間を令和3年度から7年度まで5年間延長するとともに、荒川二・四・七丁目地区は、荒川一・三丁目及び南千住一・五丁目を含んだ荒川・南千住地区として、取組を推進します。 					
実	績	目	標	•	年度 込み)	3年度	4年度	5年度	
不燃領域率 (荒川・南千住地区)		※ 1	68.5%	65.0%	66. 2%	67. 5%			
不燃領域率 (町屋・尾久地区)				63.6%	64.8%	66.1%	67. 4%		

^{※1} 令和2年度までは「荒川二・四・七丁目地区」で実施。

令和3年度からは、不燃領域率61.8%(令和元年度末現在)の荒川一・三丁目及び南千住一・五丁目を含んだ「荒川・南千住地区」として実施。

	刘	K-	h	工房儿+光 **						
事	業	€	名	耐震化推進事業						
実	施	方	針		住宅の耐震化率の向上を目指し、耐震性が不足する建築物の建替え 除却、耐震補強工事を推進する取組を実施します。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度			
荒川区耐震改修促進 計画の推進			修促進	計画改定	実施	実施	実施			
木造建物耐震化推進 事業 (耐震補強・除却・建				30 棟	実施	実施	実施			
進事	替え工事) 非木造建物耐震化推 進事業 (耐震補強・建替え工 事)			3 棟	実施	実施	実施			

事	弟	邕	名	空き家対策事業	空き家対策事業					
実	施	方	針	空き家等の適立 る管理不全な空 ・ 利用可能な空き	る条例」に基づき、 影響を及ぼしてい 善指導を行います。 ご通や活用の促進を につなげます。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度			
き家の		(危	送朽空 険度ラ ^ス 計)	2 棟	3 棟	4 棟	5 棟			
	特定空家等対策審査 会の開催			実施	実施	実施	実施			
地域活性化施設への 利活用支援			九への	1 棟	1 棟	1棟	1 棟			
空き 催	家等村	目談会	会の開	実施	実施	実施	実施			

「犯罪をゆるさないまちづくりの推進」





目的・方向性

区内の犯罪に関する情報や被害防止の方法などを広く区民に周知することで、防犯意識の向上を促すとともに、安全・安心パトロールカーによる巡回や防犯カメラの設置などにより、犯罪が起きにくい環境を整備します。

体感治安の向上を図り、区民の誰もが安全安心を実感できるまちの実現を目指します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実	施計画(第2期)	基本計画 最終年度
	2年度	3 年度	4 年度	5年度	8年度
刑法犯認知件数 (全体)	1,460件	1,380件	1,300件	1, 220 件	1,000件
ゲートウェイ犯 罪 (*1) の件数 (自 転車盗、万引き)	650 件	620 件	590 件	560 件	480 件
指定重点犯罪 (※2) の件数	125 件	115 件	105 件	95 件	70 件
特殊詐欺の件数 (※3)	50 件	42 件	34 件	26 件	4件
交通事故件数	341 件	334 件	327 件	320 件	300 件
指導員配置時に おける児童の交 通事故発生件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
小学校内への不 審者等侵入件数	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
学校情報配信シ ステム登録率	(小) 97.9% (中) 95.8% (幼) 99.1%	98% 96% 99. 5%	98. 5% 97% 100%	99% 98% 100%	100% 100% 100%

^{※1} 自転車盗や万引きは、ゲートウェイ犯罪(重大な犯罪への入り口)とも呼ばれ、将来的に重大な犯罪へと手を染める契機となるものといわれている。

^{※2} 特に不安に感じる身近な犯罪として警視庁が指定した、「強盗」「侵入窃盗」「ひったくり」「性犯罪」「特殊詐欺(振り込め詐欺、振り込め類似詐欺の総称)」「自動車盗」「子供に対する犯罪」の7罪種のこと。

^{※3} 面識のない不特定多数の者に対し、電話その他の通信手段を用いて、対面することなく被害者をだまし、不正に入手した架空 又は他人名義の預貯金口座への振り込みなどの方法により、被害者に現金などを交付させる詐欺のこと。代表されるオレオレ 詐欺のほか、還付金詐欺、架空請求詐欺など詐欺の手法は多岐にわたる。

重点事業 (計画事業)

事	業	É	名	地域防犯力の向し	地域防犯力の向上					
				・「防犯かわら版」による防犯情報の周知や防犯啓発指導員による防犯講話の実施など、様々な機会を活用した防犯知識に関する普及啓発を進めるとともに、区民一人一人の防犯意識の向上を図ります。						
実	施	方	針		・ 町会による防犯パトロールや「見守り活動隊」の活動など、区民による防犯活動への支援を充実します。					
					・ 地域の防犯力や警察と連携して特殊詐欺被害撲滅のためのあらゆる防 犯啓発活動を推進します。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度			
,	引かわ による			推進	推進	推進	推進			
防犯講話の実施				充実	充実 充実 充実					
見守り活動隊への支援				充実	充実	充実	充実			

事	当	É	名	自転車盗難対策の強化					
実	施	方	針		警察署と連携し、ご 図し実施します。	選携し、カギ掛けの励行を呼びかけるキャン ます。			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	лы	/3	Σ1	自転車盗の発生 置します。	・ 自転車盗の発生状況の推移を検証し、青パト及び盗難防止指導員を 置します。				
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度		
盗難防止キャンペー ンの実施			/~°−	充実	充実	充実	充実		
自転車盗難件数				500 件	450 件	400 件	350 件		

事	≱	邕	名	安全安心まちづくり協議会の開催						
実	施	方	針	・ 地域のリーダーや警察署などの意見を児童の安全対策、総合的な治安 対策、特殊詐欺対策に反映させるために、安全安心まちづくり協議会 を開催します。						
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度			
協議会の開催				実施	実施	実施	実施			
防犯部会の開催				実施	実施	実施	実施			

事	美	É	名	防犯カメラの効果	的な設置・管理				
実	施	方	針	 防犯カメラの設置方針に基づく設置の終了等により、適切な管理行するとともに、新たな需要に効果的に対応するための設置等をます。 警察署と連携して、未整備の町会・自治会を対象とする説明会をするなど、防犯カメラ設置について協力を求めていきます。 					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度		
数(防犯カメラの管理台 数(幹線道路、駅前、 区境等)			139 台	139 台	139 台	139 台		
	カメラ通学路		学理台	190 台	190 台	190 台	190 台		
	防犯カメラ設置台数 (公園・児童遊園等)			166 台	新設する公園等 への設置	新設する公園等 への設置	新設する公園 等への設置		
団体	町会、商店街等、地域 団体による防犯カメ ラ設置への助成件数			10 件	10 件	10 件	10 件		

事	弟	É	名	安全安心ステーションの充実					
実	施	方	針	・ 安全安心ステーションに勤務する職員に、区の防犯対策事業や犯罪の 発生状況等を定期的に伝え、区民からの防犯相談に乗れる体制をつく るとともに、ステーション職員による各戸訪問による防犯指導など、 ステーションを活用した事業の周知を積極的に展開することで、地域 防犯の拠点としての機能を高めます。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度		
安全安心ステーショ ン職員による訪問防 犯指導件数				※1 880 件	950 件	1,020 件	1,090件		

^{※1} 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う指標数の減。

事	美	É	名	登下校時等における子どもの安全対策					
実	施	方	金 	 区立小学校において、下校時における低学年児童への付き添いや見回り活動を行います。また、学校安全ボランティアによる見守り活動を行う等、地域ぐるみで児童の安全を確保します。 登下校時の児童の交通安全を確保するため、区立小学校の通学路に児童通学案内指導員を配置し、児童に対する通学案内及び安全指導を行います。 区立小学校及びこども園等に安全推進員を配置することで、不審者の発見に努める等、登下校時及び授業中等の安全確保を図ります。 					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度		
	学校安全パトロール の実施		ュール	実施	実施	実施	実施		
児童通学案内指導員 の配置			1導員	実施	実施	実施	実施		
児童:	安全才	推進 員	員の配	実施	実施	実施	実施		

事	美	Ě	名	学校情報配信シ	ステム				
実	施	方	針	・ 子どもの安全に関わる緊急情報等を区立小中学校、幼稚園、こどもの児童、生徒、園児の保護者の携帯電話等にメール配信することにり、注意喚起を促し、子どもを犯罪から未然に守ります。					
実	美 績 目 標		標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度		
不審定配信	不審者情報のメール 配信			72 件	配信	配信	配信		
	学校情報配信システ ム登録率(小)			97.9%	98%	98.5%	99%		
学校情報配信システ ム登録率(中)			ンステ	95.8%	96%	97%	98%		
	学校情報配信システム登録率(幼)			99.1%	99.5%	100%	100%		

「都市計画道路の整備」



目的・方向性

避難路や延焼遮断帯としての機能確保、木造住宅密集地域の防災性向上、安全に歩行できる空間の確保、電線類の地中化や植樹帯の整備のため、都市計画道路の整備を推進します。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実	基本計画 最終年度		
	2年度	3 年度	4 年度	5年度	8 年度
都市計画道路の 整備率	58.1%	58.1%	58.1%	58.1%	69.3%

重点事業(計画事業)

事	弟	色	名	都市計画道路補助 193 号線整備				
実	施	方	針	 ・ 木造住宅が密集している区域に接する本線(旭電化通り)の幅員を現在の約11mから15mに拡幅整備し、延焼遮断帯の形成や避難経路機能を確保します。 ・ 電線類の地中化や沿道住宅の建替え等により地域の防災性を向上させ、災害に強い街づくりを推進します。 				
実	績	目	標	本年度 (見込み)				
補助 193 号線の整備			整備	用地取得	用地取得・工事	工事	工事	

事	美	É	名	都市計画道路補助 331 号線整備					
実	施	方	針	・ 南千住駅西側地域の住民が円滑に東側に移動できるよう、都市の骨格となる道路ネットワークを形成し、併せて街の防災性を向上させます。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度		
補助 331 号線の整備			整備	用地取得・工事	工事	工事	竣工予定		

「交通環境の整備」



目的・方向性

公共交通機関の充実を図るとともに、交通不便地域における高齢者や障がい者の移動の 利便性向上を推進します。

また、放置自転車をなくして安全で安心して通行できる道路環境を整備することに加え、環境に配慮した駅前空間を創出します。

成果指標

指標	本年度 (見込み) 実施計画(第2期)				基本計画 最終年度
	2年度	3 年度	4 年度	5 年度	8年度
コミュニティバスの 乗車人員(人/日)	3,300人	3,400人	3,500人	3,600人	3,900 人
放置自転車台数	470 台	450 台	430 台	410 台	350 台
駐輪可能台数 ※民間駐輪場含む	10,950 台	11,000 台	11,000 台	11,000 台	11,000 台
自転車置場・自転 車駐車場定期登録 者数	7, 200 人	7, 300 人	7,400人	7, 500 人	7,800人

重点事業(計画事業)

事	業	É	名	コミュニティバスの利用促進					
実	施	方	針	・ コミュニティバス利用者の多様なニーズ等を的確に捉え、運行事業者と連携してさらなるサービス向上を目指し利用者の増加を図るとともに、需要等を把握し、運行事業者とともに路線拡充等を検討していきます。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度		
運行見直し				実施	検討	検討	検討		
路線拡充等 検討 検討						検討	検討		

事	美	É	名	総合的な自転車施策の推進				
実	施	方	針	放置自転車対策及び自転車走行空間の整備等を進めるため、総合的な 自転車施策の計画を策定し、推進していきます。				
実	績	目	標	本年度 (見込み) 3年度		4年度	5年度	
総合的な自転車施策 の計画策定及び推進				検討	調査	策定・実施	検証	

「市街地再開発事業等の推進」



目的・方向性

荒川区の拠点となる区内駅前地区において再開発事業を推進することにより、住宅、商業、工業が混在した密集市街地を解消し、安全で快適な街を形成するとともに、駅前にふさわしいにぎわいを創出し、街の活性化を図ります。

成果指標

指標	本年度 (見込み)	実加	拖計画(第2期)	基本計画 最終年度	
	2年度	3 年度	4 年度	5 年度	8年度
市街地再開発事 業の進捗率 (全地 区)	76%	82%	85%	88%	97%

重点事業(計画事業)

事	業名		名	三河島駅前北地区市街地再開発事業					
実	施	方	針	・ 周辺を含む地域の防災性向上や駅前のにぎわいの創出を目的とした再開発を推進します。・ 区が取得する床については、新たな体育館の整備を検討します。					
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度		
事業の進捗				20%	40%	50%	60%		

事	弟	É	名	西日暮里駅前地区	市街地再開発事業			
				・ 都市基盤の整備及び駅前のにぎわいの創出を目的とした再開発を推進します。				
実 施 方 針 ・ 駅前立地を生かし、公民連携による利便性の高い文化交流を目指します。区が取得する床については、子どもから高いでは、全球を制用でき、区外にも開かれた利便性の高い施設では、また。						いら高齢者まで誰		
実	績	目	標	本年度 (見込み)	3年度	4年度	5年度	
事業の進捗				20%	40%	50%	60%	